



豊平川ふれあいクリーン作戦withイカダ下り(7/16)

札幌の夏の風物詩である「第32回サッポロ豊平川イカダ下り大会」が豊平川で開催され、51チーム、約200人（イカダ38チーム、一人乗りチューブ11人、親子の部2チーム）が出場し、個性的なイカダでゴールを目指しました。

今年はチューブなどのイカダの材料を貸し出す「材料貸出コース」が新設され、手軽にイカダ下りを楽しめるようになりました。

また、大会に合わせて行った中央区主催の「豊平川ふれあいクリーン作戦withイカダ下り」は、幌平橋から一条大橋までの河川敷のごみ拾いを行う活動で、今年が4回目。

参加した約230人は、それぞれビニール袋を手にイカダ下りを応援しながらごみを拾いました。



◀イカダ下り大会とクリーン作戦の様子



▲最優秀実行委員長賞
「もっと牛乳を飲モウ〜」チーム



町内防犯パトロール活動開始

7月13日（木）、西連合町内会の防犯パトロール活動の開始式が西会館（南6西13）で行われ、上田文雄札幌市長や渡辺政則中央警察署長をはじめ地域住民約100人が参加しました。

式終了後、参加者は「町内パトロール」と書かれた黄色の腕章を着け、児童の下校に合わせてパトロールを行いました。

山口富美会長 ▶開始式であいさつをする



苗穂歴史探検隊

7月26日（水）、苗穂まちづくりセンター、苗穂はるにれ児童会館と苗穂連合町内会主催の苗穂の歴史を楽しく学ぶ「苗穂歴史探検隊」が行われ、地元の小学生約30人が参加しました。

「福山醸造本社」、「サッポロビール博物館」、「雪印乳業史料館」などを訪れ、子どもたちは興味深げに工場内を見学していました。



▲興味深げに工場見学をする子どもたち

広 告 欄